



飛び立て！かみかわっ子 原田杯ジュニアジャンプ大会

関連インタビューは裏表紙（p16）へ！



第201号 令和8年5月1日発行

一般質問 ……P2～3

委員会等の動き ……P14～15

町議会審議結果 ……P4～7
1月臨時会 3月定例会

表紙インタビュー ……P16

予算審査特別委員会 ……P8～13

発行/上川町議会 編集/議会広報特別委員会

3月定例会は3件の質問がありました

小林 健男 議員

- 「トレーニングサポート事業について」
- 「黒岳スキー場について」
- 「除雪及び転倒防止対策について」

※質疑の要点のみ掲載しております。



総合体育館に運動用機材が揃っているが、安全かつ効果的に使うにはトレーナーが必要だ

トレーニングサポート事業について

健康

体育館トレーニング補助の維持求む

教育長 旭川のトレーナーで対応するが、町内人材の活用も今後検討する

小林議員

これまで体育館で常時トレーニング指導をしていた職員が退職し、来年度は旭川からの派遣になるとのことだが、指導回数が減ることと町民の健康づくりに影響が出るのではないかと心配している。

町内にもスキルを持った方がいる可能性があるのですが、そうした人材を活用し、これまでと同じような支援体制を維持できないか？

教育長

これまでの事業は多くの利用があり、町民からも好評だったが、職員の退職

Q. 「一般質問」ってなに？
 A. 議員が町政の現状や方針を問うもので、議員の願う政策や展望も語ることできる貴重な場です。



こばやし つくお 議員

により継続が難しくなった。来年度からは旭川の専門トレーナーを派遣するかたちで事業を継続する。

資格を持つ人材を常勤で確保するのは難しい状況だ。今後は派遣日に合わせた運動教室の開催や休日対応などを工夫し、より多くの町民が利用できるよう取り組んでいく。

小林議員

実際に「悪かった膝が良くなり歩けるようになってきた」という声もあり、この事業は非常に重要だ。派遣方式だけでは日常的な相談や継続支援が難しい面もある。

町内人材の活用について、もう一步踏み込んで検討すべきではないか。

教育長

来年度は派遣方式を基本とするが、高齢者向けの運動や健康相談の充実も図っていく。また、地域活性化起業人の活用も検討している。町内人材についても、可能性があれば今後検討していく。

黒岳スキー場について



(株)りんゆう観光が管理する黒岳スキー場は観光資源として注目されている

小林議員

黒岳スキー場は観光客が増え、雪質の良さが評価されている。今後は安全確保とともに、設備整備や広報の強化が必要では。

町長 黒岳スキー場の利用者は増加しており、今年はロープウェイの運行改善もあって大きく伸びている。

ただし現時点で新たな設備整備や拡張の計画はない。安全確保と適正管理を基本に、利便性向上に努めていく方針だ。また海外プロモーションは継続して実施しており、今後も事業者と連携して効果的なPRを進めていく。

小林議員

バックカントリースキー※の利用者も増えており、スキー場以外でも滑走する観光客が増えている。

観光としては魅力だが、事故防止の観点から安全対策を強化すべきでは。

町長

現在、入山届の提出や注意喚起を行っており、事故時は警察や消防と連携する体制を整えている。

利用者の増加に伴い事故リスクも高まっているため、関係機関や事業者と情報共有しながら、今後の対策を検討していく。

除雪及び転倒防止対策について

小林議員

今年は積雪が多く道路幅が狭まり、緊急車両の通行にも支障が出た。また、凍結による転倒・骨折も多く発生している。

来年度に向けた対策は？

町長

除雪は降雪量や気象条件に大きく左右されるが、早朝の一斉除雪については基準（10センチ以上降雪時に出動）に基づき対応している。

緊急時には幹線道路を優先し、関係機関と連携して通行確保に努めている。

凍結対策として砂まきなどを行っているが、全路線への対応には限界がある。今後は地域の協力も得ながら体制の改善を図る。

小林議員

転倒による骨折は重大な問題だ。砂まきの強化や、靴のスパイク利用などの周知も含め、町全体で取り組む必要があるのでは。

町長

骨折事故の深刻さは認識している。行政だけの対応には限界があるため、町民の協力を得ながら砂まきなどを進めていく。

また関係部署が連携し、注意喚起や啓発を強化し、事故防止に努めていく。

過去の議会を動画で見ることができます！
！YouTubeの【上川町議会チャンネル】へアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで

【上川町議会チャンネル】

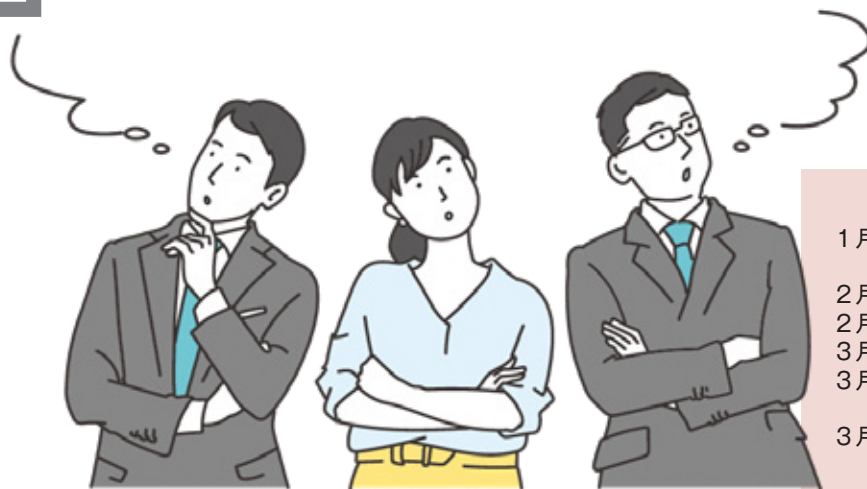
と検索してみてください。



1月臨時
3月定例

議会でなにがきまったの??

審議結果を紹介します



最近の会議等

- 1月15日 全員協議会
議会（臨時会）
- 2月19日 総務文教常任委員会
- 2月24日 産業福祉常任委員会
- 3月 3日 議会（定例会）
- 3月16日 議会（定例会）
予算審査特別委員会
- 3月17日 議会（定例会）
予算審査特別委員会

1月15日に臨時議会、3月3日及び3月16日・17日に定例議会が行われ計38件の議案が審議され、すべて可決されました。（審議結果の一覧は7ページ）

今回は、議会や委員会、全員協議会で話し合いを深めてきた内容のなかから、特に町民の暮らしに直結するものを紹介します。

物価高騰



議案第1号 令和7年度一般会計補正予算（第7号）

（スケジュール） 1月全員協議会で審議
1月臨時会で予算提出

R7 物価高騰対策 ペイチケット・子育て世帯支援米

1億200万円規模の物価高騰対策！

近年の物価高騰を受け、国から地方へ物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金が出されました。上川町が交付された額は9,340万4千円で、これに町の財源906万8千円を追加して、7年度から8年度にかけて物価高騰対策が行われます。

令和7年度は、町民1人あたり1万円のペイチケットが配布されたほか、子育て世帯に子ども1人あたり5kgのお米が現物支給されました。



支援米として配られた「金芽米」は、町と協定を結んでいる東洋ライス(株)の特許製法で精米され、栄養価が高い。

全員協議会での事前質疑を15ページに掲載しています





議案第20号 令和8年度一般会計予算 他

(スケジュール) 2月委員会で事前審議
3月予算審査委員会で審議
3月定例会で予算提出

R 8 物価高騰対策 水道料軽減・プレミアム商品券など多数

国から全国に交付された交付金は、地域の实情に応じて活用することができます。
上川町では、地域経済の維持と福祉増進を図るための取組を下記の通り実施しています。

令和8年度の物価高騰対策

- 水道料金の基本料免除（夏の3か月）
- 福祉灯油の増量
- プレミアム付商品券
- 福祉タクシーの増額
- 省エネ家電買替補助金（エアコン・冷蔵庫・TV）
- バス、タクシー事業者支援金
- 住民税非課税世帯支援米
- 介護事業者支援金（燃料・食材費分）

委員会での事前質疑を14ページに掲載しています



議案第8号
国民健康保険上川町立診療所設置条例の一部改正

(スケジュール) 2月委員会で事前審議
3月定例会で条例提出
4月に条例が施行

医療センターの診断書料等の値上げ

医療センターの文書手数料（診断書等）の値上げや、訪問リハビリ事業を始めるため、条例改正を行いました。

Q. どうして手数料を値上げするの？

A. 病院経営の改善を図るためです。

上川町では、これまで消費税率の引上げ時にも大きな見直しを行わず、比較的低額に設定してきました。

しかし近年、人件費や各種経費が増加しており、今後も医療センターを運営していくために手数料を見直すこととしました。改正後の金額は、近隣自治体の病院と同程度となっています。

金額は近隣自治体病院を参考に設定

主な手数料の値上げ

	現行	改正後
一般診断書	2,200円	3,300円
死亡診断書	2,200円	4,400円
死体検案料(簡単なもの)	5,500円	11,000円
給食料	470円	550円

※その他の項目については省略しています

病院会計に 6000万円の補填

〔議案第12号 令和7年度上川町一般会計補正予算（第8号）〕

医療センターの診療収入が減った分を補填するため、一般会計から病院会計へ約6000万円を補填する補正予算が出されました。

収入減の原因は、年度当初に見込んだ入院患者数に比べ、実際の患者数が大幅に減少（1日7人見込→5.4人）したことや、外来患者の診療単価が減額（単価見込1万2千円→9500円）したことです。



愛山溪倶楽部の 貸付相手が変わりました

〔議案第4号 財産（愛山溪倶楽部等施設）の無償貸付〕

町有財産である愛山溪倶楽部は、以前より民間に貸し出し、経営を行っていらっしゃいましたが、これまで貸し付けていた事業者が撤退したため、8年度から新たに「NPO法人かむい」に貸し付けを行いました。



1 議会 ニュース

意見書を提出しました！

町民などからの要望や意見を国の機関へ意見書として提出しています。3月定例会では「生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書」を採択しました。

2 議会 ニュース

まちづくりトークを募集しています！

「町政に対する議員の考え方を聞きたい」「とにかく議員と話してみたい」そんなご要望ありませんか？ 議員との対話の会「まちづくりトーク」へのお申込みをお待ちしています。

（問い合わせは 上川町議会事務局 01658-2-4064）

3 議会 ニュース

4月より議会の委員会が新体制になりました！

まちづくり・教育・防災などを話し合う 総務文教常任委員会

委員長	泉	勝雄
副委員長	湯川	秀一
委員	淵上	主美
	溝口	久男
	石山	浩幸

商工農・福祉・医療などを話し合う 産業福祉常任委員会

委員長	昔農	正春
副委員長	宮本	敬嘉
委員	笠間	法考
	小林	健男
	大村	優介



一目でわかる 議会の結果

1月臨時会
3月定例会

(重要度)
☆☆☆☆
町民の暮らしに直結する案件かどうか、広報委員会で独自に判断しました

重要度	件名	結果
条例制定 新しい条例をつくること。議会で提案されても即決はせず、必ず委員会へ付託（審査を依頼）し、次の定例会のときに採択か不採択かを定める		
☆☆☆☆	一時預かり事業実施条例の制定	全会一致 で可決
☆☆☆☆	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	
☆☆☆☆	特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	
条例改正 すでにある条例を変えること。保険料が変わるなど町民の暮らしに直結する場合と、国の法律が変わる際にそれに合わせて町の条例を変えるなど形式的な場合がある		
☆☆☆☆	行政手続条例の一部を改正	全会一致 で可決
☆☆☆☆	町長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の一部を改正	
☆☆☆☆	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正	
☆☆☆☆	国民健康保険上川町立診療所設置条例の一部を改正	
補正予算 お金が足りないぶんを補う補正（増額）と、予定より使わなかったためお金を戻す整理（減額）がある		
☆☆☆☆	一般会計補正予算 第6・7・8・9号 ※7号は専決処分	全会一致 で可決
☆☆☆☆	国民健康保険事業特別会計補正予算 第2号	
☆☆☆☆	後期高齢者医療事業特別会計補正予算 第3号	
☆☆☆☆	介護保険事業特別会計補正予算 第3号	
☆☆☆☆	国民健康保険上川町立診療所(上川医療センター)事業特別会計補正予算 第6号	
☆☆☆☆	介護医療院(つつじ苑)事業特別会計補正予算 第3号	
☆☆☆☆	簡易水道事業会計補正予算 第3号	
☆☆☆☆	下水道事業会計補正予算 第4号	
令和8年度予算 p8~13に特集ページあり！		
☆☆☆☆	全8会計の新年度予算（一般会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計・介護保険事業特別会計・国民健康保険上川町立診療所事業特別会計・介護医療院事業特別会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計）	予算審査 特別委員 会に付託 ⇒全会一 致で可決
その他 人事・契約・財産など		
☆☆☆☆	財産の無償貸付（旧層雲峡ユースホステル施設・愛山溪倶楽部等施設）	全会一致 で可決
☆☆☆☆	指定管理者の指定（層雲峡観光総合コミュニティセンター及び大雪山バーデハウス・流星・銀河の滝休憩舎）	
☆☆☆☆	過疎地域持続的発展市町村計画の変更	
議員からの発議 議員から提出する議案。おもに議会関係の条例改正や、議員の派遣など		
☆☆☆☆	議会常任委員会・議会運営委員会・議会広報特別委員会の委員の選任	全会一致 で可決

ダイジェスト!

今年の予算委員会

01 議論白熱!
26件・103分間の質疑
 「保育所解体」「義務教育学校」
 「太陽光発電」など
 多数の論点

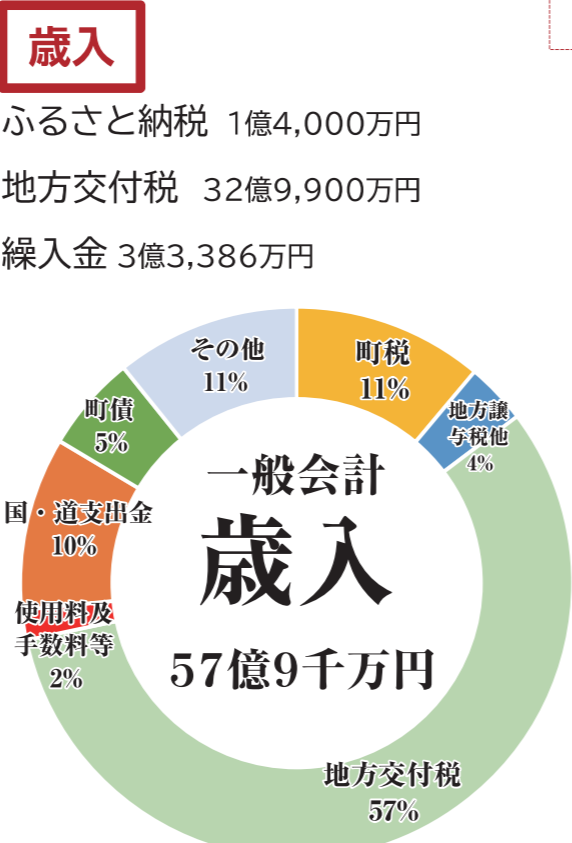
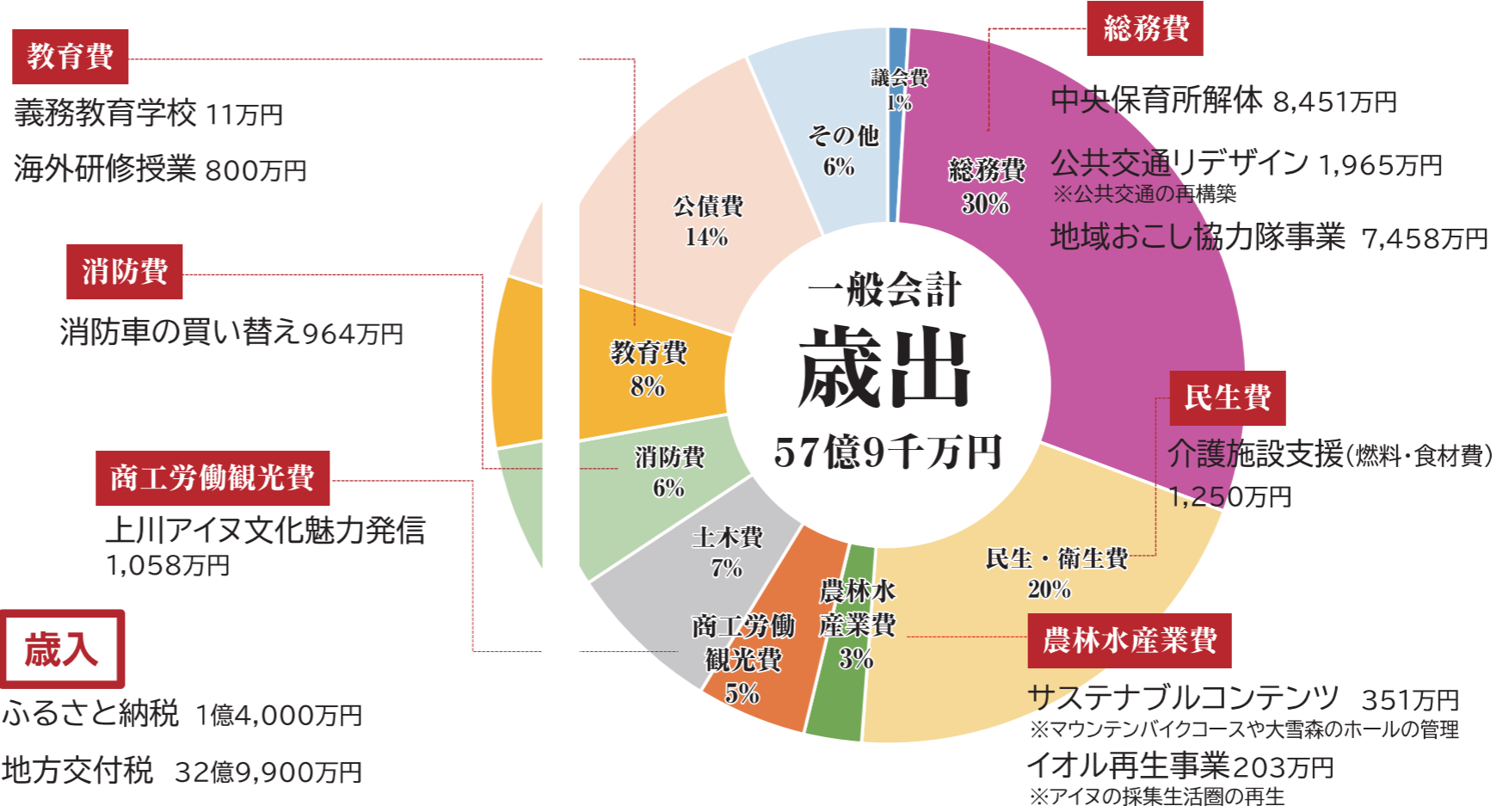
02 病院会計の課題を議員が指摘
 議員「堅実な予算編成と支出の削減を」
 町長「病院は必ず残す！」

03 総括質疑2件
 「財政改善のため国債運用の検討を」
 「オリンピック慰労会やりましょう！」

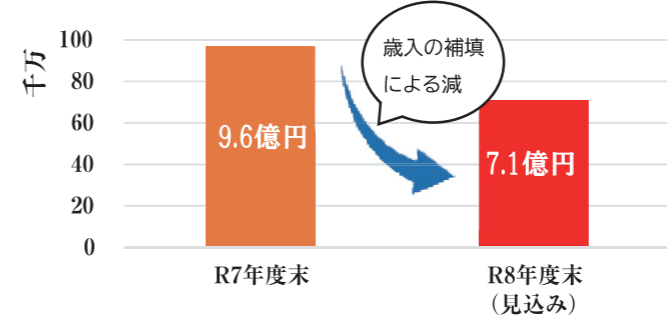
8年度 予算

基金を3.3億円取り崩し 厳しい予算編成

令和8年度の上川町の予算額（歳出）は一般会計57億9,000万円、特別会計17億7,870万円、企業会計は9億679万円となりました。それらをあわせた総額は84億7,550万円で前年対比2.1%の減となりました。（1万円未満は記載を省略しています）



上川町の基金残高の推移



基金は、3.3億円の取り崩しと年度内の積み戻しを合わせ、2.5億円の減となる予定です。

Q そもそも基金ってなに？
 A まちの貯金です。今回のように歳入が足りない時の補填や、災害などの予期しない出費に使える財政調整基金と、特定の目的にだけ使える基金（減債基金など）があります。

予算審査特別委員会で

活発な議論が交わされた

総務費「地域おこし協力隊事業」

なにをするの？

8年度より地域おこし協力隊の業務を（一社）カミカワミライデザインを通した委託方式に変更し、協力隊の人件費等として、補助金6508万円を支出する。

宮本委員

協力隊を委託方式にすることでどんなメリットがあるのか？

地域未来創造係長

役場の労務管理のコストが抑えられる。また、協力隊員が法人の所属になることで活動範囲が広がり、機動力が上がることを期待している。

Q (一社)カミカワミライデザインとは？

A 令和8年3月に町主導で設立した「まちづくり」のための団体。地域プロジェクトマネージャーや地域活性化起業人が中心となり、まちづくりに取り組む。
(関連質疑14ページ)

総務費「職員ユニフォーム」

なにをするの？

役場職員に貸与する制服として、町の提携企業であるコロンビアのシャツを購入するため149名分96万円を支出する。

笠間委員

物価高騰で厳しい情勢だ。職員ユニフォームの更新は今でなくてもよいのでは？

総務課長

3年前に貸与したユニフォームが劣化してきたため、被服規程に基づき更新することとなった。

ユニフォームの貸与は職員への福利厚生としても行っており、仕事のしやすさや士気向上にもつながっていると考える。



役場は毎週水曜を「コロンビアデー」と定め、提携企業であるコロンビアのシャツを着て勤務している

総務費「公共交通リデザイン」

なにをするの？

コミュニティバスかみくるのデマンドの実証・町内の交通実態の調査・地域公共交通のDX推進の検証などのため、1965万円を支出する。

溝口委員

かみくるのデマンド化実証実験の時期や具体的な方法は？

企画係長

11月～翌2月に、現状の運行と並行してデマンド化（予約制バス）の実証実験を行う。予約の方法は、電話とインターネットを併用する。

町長

バスの1台運行が限界にきている。今のやり方だとバスの利用者も増えない。様々な問題の解決策も含め検討していく。

(関連質疑14ページ)

総務費「中央保育所の解体」

なにをするの？

こども園が開園し不要となった中央保育所の解体で、8451万円支出する。

■ 予算審査特別委員会

… 毎年3月に新年度予算について審査する委員会。
 予算が妥当であり住民のためになるものかを、事業の
 目的や効果などを確認しながら審査します。

泉委員

解体費用の詳しい内訳を。また
 7年度行われた実施設計の結果について、
 技術的な視点での検査は行っているか。

財政係長

費用総額8451万3千円で
 一坪あたり463千円。実施設計の検査は
 建設水道課でしっかり行っている。



元上川中央保育所は8年度に取り壊しの予定

総務費 「感動人口創出事業」

なにをするの？

感動人口（関係人口）を増やすため、感
 動人口コーディネーターへの交付金として
 1000万円を支出する。

掘上委員

感動人口コーディネーターの
 業務内容は？

地域未来創造係長

国の「2地域居住コ
 ーディネーター」の制度活用により、都市
 と地域をつなぐ役目を果たしてもらおう。

具体的には上川町東京事務所と連携して
 都市部でのイベントや官民共創事業に取り
 組む。

Q 感動人口ってなに？

A まちに定住はしていないけれども、
 仕事や趣味でまちに関わりを持つ人々の
 ことを「関係人口」と呼びますが、上川
 町は更に、まちとの関わりで心が動いた
 人々を「感動人口」と呼び「感動人口、
 一億人」を目指しています。

農林水産業費

「サステナブルコンテンツ」

なにをするの？

旭ヶ丘に整備したマウンテンバイクコー
 スと森林空間の管理料等に351万2千円
 支出する。

大村委員

事業継続の指標となるような
 実績や効果は？

林務係長

6年度はコース造成が中心
 で、完成した施設が7年度より指定管理と
 なった。管理者から後日実績報告が上がっ
 てくる予定だ。

コースは初心者向け。他の地区のコース
 と連動して利用者の増につなげたい。



旭ヶ丘の森の中に整備されたマウンテンバイクコー
 スは、外部へ管理を委託（指定管理）している

農林水産業費「イオル再生事業」

なにをするの？

町有林の中に「イオル」を作り、アイヌ
 文化への理解促進や森林保全を行う事業を
 委託するため、203万7千円を支出する。

溝口委員

具体的な内容と委託先は？

林務係長

町有林内の一定区域を「イオ
 ル」化し、アイヌ文化伝承の場所として整
 備していく。またマウンテンバイクなどの
 観光事業と連動させ、当事者たちがイオル
 の森を利用して自走できる仕組みにしてい
 きたい。

委託先は検討中だが、イオル再生の第一
 人者である方々の指導を頂き進めていく。



町の広報でも予算の紹介をしています。
二次元バーコードを読み取るか、町ホームページから閲覧してください >>>>

商工労働観光費
「上川アイヌ文化魅力発信」

なにをするの？

上川アイヌの文化の魅力発信を委託するため1058万5千円を支出する。

溝口委員

具体的な事業は？

商工観光係長 日本遺産と連動したパンフレット作製や、アイヌ伝説の絵本を作成するほか、フクロウ神事等を行う「溪谷火まつり」を旅行雑誌に掲載する予定だ。



溪谷火まつりでは、上川アイヌによる音楽や踊りを楽しむことができる

教育費
「義務教育学校」

なにをするの？

義務教育学校を検討する委員会の開催等

のため、11万2千円を支出する。

瀧上委員

話し合いの進行状況は？

教育次長補佐

7年度は検討委員会で義務教育学校のメリットデメリットを学習したほか中富良野町の義務教育学校を視察した。

上川町立診療所会計「診療収入」

なにをするの？

上川医療センターの診療収入として2億6641万円を計上。

瀧上委員

7年度実績額と8年度予算額に乖離があるがなぜか？

事務長

一般会計からの繰入額を1億円にとどめるため、例年通りの予算額で設定し収支の調整をはかっている。

瀧上委員

事情はあるにしろ実態にあった予算を組むべきと思う。

副町長

病院の経営については、今後議論を進めていく。



上川町立診療所会計「人件費」

なにをするの？

事務職員9人分5500万円を介護医療院会計と按分して支出する。

小林委員

事務職員の人件費が高いのでは？

特別会計の8年度予算

- 国民健康保険事業特別会計 4億7,274万円 (2.1%減)
- 後期高齢者医療事業特別会計 8,878万円 (12%増)
- 介護保険事業特別会計 5億4,990万円 (6.2%増)
- 町立診療所事業特別会計 4億9,124万円 (2.4%増)
- 介護医療院事業特別会計 1億7,601万円 (4.8%減)

企業会計の8年度予算

- 簡易水道事業会計 4億円 (5.3%減)
- 下水道事業会計 5億679万円 (10.8%増)

総括質疑

…通常の質疑は事業ごとに細かく行いますが、総括質疑では予算編成方針についてなど、全体的な視点からの質疑を行います。

病院・総務係長 7年度は10名だったが、患者数の減少に伴い8年度は1名減でした。

人件費以外にも、経費の削減及び収益増加について取り組んでいる。

小林委員 病院を維持するためにも収益を上げてほしい。

町長 最近室蘭市立病院の閉院のニュースなどもあったが、上川医療センターはぜったいになくさない。
そのためにも収益改善や、今後の病院のあり方についての議論を進めていく。

上川町立診療所会計 「太陽光パネル導入」

なにをするの？

病院への太陽光パネル設置工事のために322万4千円の支出する。

溝口委員 病院の使用電力の何パーセントを発電できるのか？
またどのような設備になるのか？

事務長 年間電力の2割程度を賄うことができ、年間130万円ほどの電気料節減になる予定。設備としては、太陽光パネル116枚を屋上に設置する。

2件の総括質疑が行われました

「資金運用をして 財政の改善を」



笠間議員

「和寒町が基金を資金運用することで良い方向に進んでおり、愛別塵芥処理組合も来年度から始めるそうだ。上川町も国債・地方債による資金運用に取り組んでは」

「上川町の基金残高は少なく手元に現金を残す必要もあることを考えると、運用に回す余力がないのが正直なところ。

資金運用については今後も情報収集し、財政改善に取り組んでいく」



西木町長

「オリンピックの 慰労会開いては」



笠間議員

「ミラノ・コルティナオリンピックで当町出身選手が活躍し、原田さんはオリンピック選手団副団長も務めた。

選手や副団長を呼んで慰労会を行い、町を盛り上げて欲しい」

「高梨・勢藤両選手のワールドカップ後に開催を検討しているほか、町民栄誉賞等も考えている」



館山教育長

3月16～17日に行われた予算委員会の内容は、昔農委員長が17日議会で報告を行い「全会一致」で可決されました。

委員会の動き



議 会には4つの委員会と1つの協議会があり、まちの施策について話し合っています。特に、議会で議決をとるような案件では、議会と行政とのあいだで質疑が交わされ、政策についてじっくり意見をすり合わせるだいな場となっています。

総務文教常任委員会

▽2月19日

(議題)

- 旭川市・大雪消防組合における消防指令業務の共同運用
- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
- 過疎地域持続的発展市町村計画
- 官民共創中間支援法人の設立による共創まちづくりの推進
- 道立上川高等学校の出願状況と今後の日程
- 令和8年度予算に係る主要事業

質疑 消防車の買い替え

溝口委員 山間部や住宅密集地での対応がしやすい小型の4WDデッキバンのポンプ車に買い替えたいとのこと。
水が積めない車両だが、どう対応するのか？

担当主査 積み下ろしができるポンプのため、河川敷まで人の手で運び川と直結することができると。
また、タンク車を中継させ麓から水を送ることも可能。

質疑 省エネ家電買い替え補助金

溝口委員 購入できるのは町内事業者に限定するそうだが、何件の業者があるのか？

地域魅力創造課長 店舗販売は1件だけだが、カタログ購入ができる業者や、建設会社等で7事業者程度が対象となる。
業者一覧を町民に周知する。

笠間委員 申請が煩雑にならないよう、業者が申請を取り持つかたちにしては？

地域魅力創造課長 そのようなかたちで検討する。
(関連記事5ページ)

質疑 (一社)カミカワミライデザインの創設

溝口委員 どんな組織なのか？
地域魅力創造課長補佐 町がこれまでやってきた地域おこし協力隊など外部人材の活用に係る事業を引き継いで実施するほか、官民共創によるまちづくりの新規プロジェクトに取り組む。
(関連記事10ページ)

質疑 かみくるのデマンド化

小林委員 民間タクシー会社のお客を奪うことにならないか？

地域魅力創造課長 タクシー会社への聞き取りで、これまで観光客のタクシー利用が多かった分、観光客のタクシー需要に抑えられていなかったことが分かった。
今後はかみくるで町民の「短距離ニーズ」を充たし、タクシー会社で観光客の「長距離ニーズ」を新たに獲得するようなかたちへ移行できるように、デマンドバスの実証実験のほか、交通実態の調査等も行う予定だ。(関連記事10ページ)



「かみくる」のデマンドバス(予約制バス)化が検討されている。

質疑 移住コーディネーターの増員

溝口委員 1人から3人への増員だが、業務量に対して適正か？

デマンドバス…利用者の予約に応じて運行されるバス。路線バスとタクシーの中間的な位置づけ。

副町長

移住相談業務の負担が大きくなり、移住1件が決まるまでに相談者とのやりとりが何十回と続くこともあり、対応しきれていなかった。

また今回「定住業務」も追加となるため、2名の増員とした。

▽3月6日

所管事務に関する意見書審査

産業福祉常任委員会

▽2月24日

(議題)

- ・一時預かり事業実施条例
- ・乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業
- ・過疎地域持続的発展市町村計画第3期上川町子ども・子育て支援事業計画の一部変更
- ・国民健康保険税率の改正
- ・新型インフルエンザ等対策行動計画の改定
- ・産業振興補助金及び上川町事業承継・新規開業支援補助金の制度改正
- ・国民健康保険上川町立診療所設

置条例の一部改正

・令和8年度予算に係る主要事業

質疑 国保税率の改正

「18歳以上均等割」とはなにか？

新たに導入される

保健福祉課長補佐

今回始まる

「子ども子育て納付金」は、子どものための支援金のため、子どもからは均等割を徴収しない。その分を補填するため、大人には「18歳以上均等割」が課せられている。

質疑 産業振興補助金及び事業承継・新規開業支援補助

湯川委員

今年から新たに営業報告書の提出を求めるようになった理由は？

産業経済課長

8年度から、補助金を使って開業等を行った事業者には「週3日以上営業(稼働)すること」と条件を設けた。

報告書により営業状況等の把握を行い、営業実態がないような場合は、補助金の返還を求める。

質疑 市根井写真のデジタル化

宮本委員

タル化するということは、建物は別の施設に転用していくのか？

町長

当面は写真館としてのかたちを残していくが、今後、層雲峡地区の核となる施設にすべく検討していきたいとは思っている。

石山委員

デジタル写真を今後町で活用して行くとのことだが、著作権等に問題はないのか？

産業経済課長

著作権は撮影者である市根井さんに帰属したままであるが、協定書を結び、データを町で使用できるようにした。



層雲峡・大雪写真ミュージアムの写真の劣化が進んでおり、デジタルで保存することが決まった

▽3月6日

所管事務に関する意見書審査

全員協議会

▽1月15日

(議題)

・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(重点支援地方交付金)

質疑 物価高騰対策(ペイチケット)

小林議員

昨年のペイチケットでは高齢者の使い忘れや、期限内に使いきれなかったという話を聞いた。それらへの対策は？

地域魅力創造課長

前は使用期限が1か月間と短期であったが、今回は期限を伸ばし1か月半以上にした。使い忘れについても広報等で周知し、前回の使用率95%を超えるよう努力する。

(関連記事4ページ)

議会運営委員会

▽1月15日・2月26日・3月11日

上川町議会の運営について

議会広報特別委員会

▽3月27日・4月17日

議会広報第201号の編集・校正

「目標を見つけ世界に羽ばたいて欲しい」



はらだ まさひこ
原田 雅彦

オリンピック（スキージャンプ）
金メダリスト/雪印メグミルク
スキー部アドバイザー/全日本
スキー連盟会長

3月15日、中山スキー場で行われた「第14回原田杯ジュニアジャンプ大会」について伺いました。

——ジャンプ大会はいかがでしたか？
今年もたくさんの子どもたちが大会に参加し笑顔になってくれました。それが非常に嬉しいです。それが非常に嬉しいですね。

スキーを通してみんなで楽しめるのがこの大会のいいところです。

——大会について今後の抱負は？

この大会は昔から私を応援してくれる、地元の方々の協力によって成り立っています。すごくありがたいです。その期待に応え、私も体の続く限りやっています。

表紙 インタビュー

上川町に生まれ、小学生の時スキージャンプに出会い、オリンピックにまで昇り詰めた原田さん。今も上川町のイベントに参加し、町を盛り上げてくれています。

——上川町の今後のスポーツ振興に期待することは？

上川町はスポーツに携わる人にとって非常によい環境です。スポーツをやる方が増えて、スポーツの素晴らしさを知り、人生に役立ててくれたらと思います。

——上川町の子どもたちへメッセージ

なにか大きな目標をみつけ、それに向かって邁進して欲しいです。私も子どもの頃、上川町できっかけをつかんでスキーの世界に入りました。上川町の大自然の中に色々なヒントがあるはず。人生におけるきっかけをつかんで、世界に羽ばたいてください。

この疑問をきっかけに…

夜間図書館 が始まりました

（毎月第1・3水曜 夜7時まで）



今後もよりよい
まちづくりに努めます

あの質問
どうなった？



質疑のその後

～令和6年3月予算審査委員会のようす～



湯川議員「図書室が日中しか空いておらず利用できない町民がいる。夜間図書室をはじめては？」

教育次長「同様の要望は上がってきている。夜間の開室には人員の配置等の問題があるが検討する」

